



すべての生徒が登下校マナーの向上を



新しいイエローライン

J R 赤坂駅西の踏切から南に向かう通学路に歩道用の白線が引いてあります。これは昨年、本校の要望により歩行者（福山中高生徒）の安全を確保するために警察署をはじめ市役所，地元赤坂町などのご協力により設けられたものです。

この度、この白線につづき、J R 西日本のご協力も仰ぎ、幅約80cmのイエローラインが踏切内赤坂駅側に設けられました。通学路は、全校生徒の7割を超える650名が毎日歩く道であり、地域の方が利用される生活道路でもあります。また、朝夕は、狭い道路を多くの自動車が通行するため、歩行者への接触などの交通事故が起こる危険もあります。特に今は立冬を過ぎ、日も短くなり登下校の危険度はさらに増しています。生徒は、車の通行を妨げたり、事故にあったりすることがないように、上の3点に気を付けて、福山中・高生としてのさわやかなマナーを実行しましょう。

- ・2列以下で白線・黄線の内側を歩こう
- ・道路の斜め横断はやめよう
- ・スタンド南側・学校東自販機前は要注意！
- ・警報機が鳴ったら踏切へ入らない

この度のイエローラインの設置は学校からの要望もありましたが、今年度、生徒会のみなさんが中心となって通学マナーや列車内マナー向上のキャンペーン（横断幕の作成・駅長をお迎えしてのロールプレー）を行ってくれた賜物とっております。しかし、残念なことに電話による苦情が時に寄せられることがあります。私たちの日々の生活は多くの人への支えの上に成り立っています。感謝の気持ちを忘れることなく市立生として感謝の気持ちと謙虚さを忘れることなく生活していきましょう。

市立に新たなキャッチフレーズが誕生！

市立は中高一貫校となり8年目を迎えています。学校・PTA・同窓会が一体となった取り組みもあり、実績も出始め、保護者から「わが子を通わせたい学校」と思ってもらえるようになってきました。11月12日（土）開催された福山中学校入試選抜説明会には今年も1100名を超える方々をお迎えすることができました。学校は、今後も更なる飛躍を目指し、生徒と共に取り組みこうした期待に応えていこうと思います。そこで、この度、中高一貫校創設以来使用してきた市立のキャッチフレーズ「**i.dream 市立で夢の実現**」に加え、新たなキャッチフレーズを生徒に呼び掛け募集しました。その結果「**若葉から一樹へ、夢の大木**」が誕生し、校舎北側屋上に横断幕として掲示したのでここに紹介します。これは6年、横山 遥さんが作成し、生徒の成長を木々の成長にたとえたもので『夢』・『一樹』をキーワードに生徒が福山中高に入学した時の熱い思いを忘れることなく、厳しい受験に耐え、夢の実現を果たして欲しい。」という願いが込められています。



新しいキャッチフレーズ